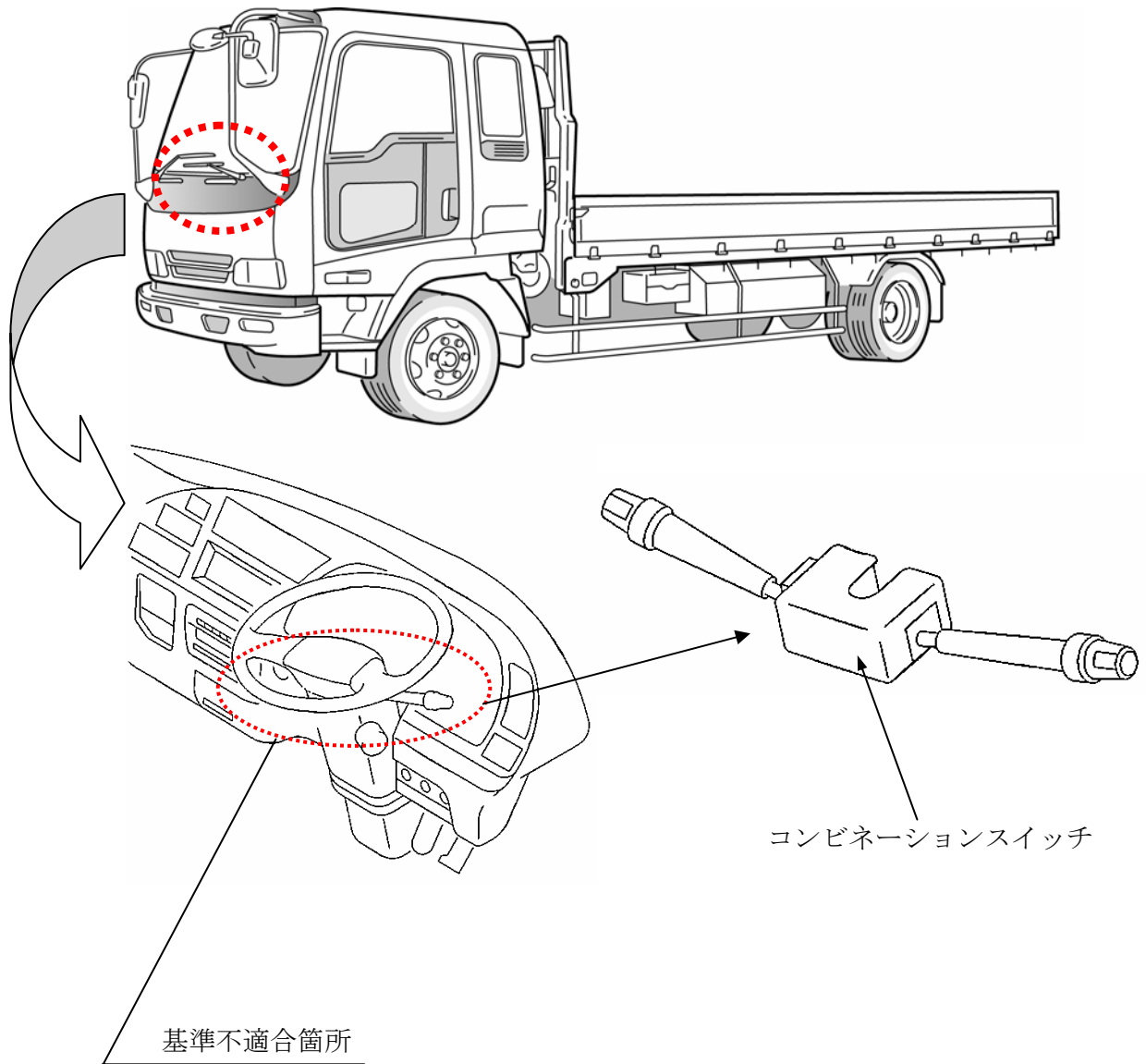


改善箇所説明図



コンビネーションスイッチ内部の側方照射灯スイッチの接点形状が不適切なため、車線を変更する際等、コンビネーションスイッチをそのストロークの中間位置に保持した状態で側方照射灯を点灯させる操作を行なうと、当該接点間にアーク放電が発生して接点が摩耗し、摩耗粉が基板上に堆積するものがある。そのため、基板上の接点間が短絡して発熱し、火災に至るおそれがある。

改善の内容:全車両、側方照射灯スイッチの作動を点検し、側方照射灯スイッチ回路にリレーを追加する。

識別:ステアリングチルトレバーに白色ペイントを塗布する。